

VDEC だより

2010年
1月15日
第3号

- ◆平成22年度チップ試作スケジュール
- ◆春のCAD講習会のお知らせ
- ◆VDECデザイナーズフォーラムのお知らせ
- ◆アンケート等へのご協力のお願いと来年度CAD利用申込みについて
- ◆ローム0.18um向けPDKリリースのお知らせ

VDEC からの大事なお知らせです。

同じ内容は

<http://www.vdec.u-tokyo.ac.jp/Tayori/>
にも掲載されています。



◆平成22年度チップ試作スケジュール

平成22年度のチップ試作スケジュールは下表のとおりとなっております。
試作申込、設計締切などぜひ計画的に期限を守って御活用いただきますようお願いいたします。
なお、試作申込締切後でも試作枠に余裕があります場合には試作の追加申込みを受け付ける場合も
ございますが、試作の運用上、申込期間中のお申込みにご協力いただきますようお願いいたします。
なお、eShuttle65nm試作につきましては、経産省のプロジェクトが実施される試作につきましては
実施を見送る可能性がありますことをご了承ください。詳細・最新情報はVDECのWEBを参照ください。
(池田 誠)

申込締切	設計締切	試作ラン
2010/1/12	2010/4/5	オンセミ 1.2um 平成21年度第2回
2010/1/12	2010/4/12	ローム 0.18um 平成21年度第6回
2010/3月	2010/6/1	eShuttle 65nm 平成22年6月シャトル
2010/3/23	2010/7/5	ローム 0.18um 平成22年度第1回
2010/5月	2010/7/28	eShuttle 65nm 平成22年8月シャトル
2010/5/24	2010/8/23	ローム 0.18um 平成22年度第2回
2010/7月	2010/9/29	eShuttle 65nm 平成22年10月シャトル
2010/7/5	2010/10/4	オンセミ 1.2um 平成22年度第1回
2010/7/20	2010/10/18	ローム 0.18um 平成22年度第3回
2010/9月	2010/12/1	eShuttle 65nm 平成22年12月シャトル
2010/10/4	2011/1/11	ローム 0.18um 平成22年度第4回 (高耐圧)
2010/11月	2011/2/2	eShuttle 65nm 平成23年2月シャトル
2011/1/11	2011/3/14	ローム 0.18um 平成22年度第5回
2011/1/14	2011/4/4	オンセミ 1.2um 平成22年度第2回

◆春の CAD 講習会のお知らせ

<http://www.vdec.u-tokyo.ac.jp/CAD/CADTraining.html>

今年も2月から3月にかけて、春のCAD講習会を開催いたします。夏のCAD講習会で試験的に導入したVDEC拠点校(北大・東北大・金沢大・東工大・名大・京大・阪大・広大・九大)へのストーリーミング配信が好評でしたので、今回もストーリーミング配信を実施し、拠点校での受講が可能となっております。

講習内容は Cadence: IC61 FrontEnd (Schematic Editor, Analog Artist), IC61 BackEnd (Layout Editor)、Synopsys: HSPICE advanced, PowerCompiler, Agilent: EM Pro を予定しております。

ぜひCAD講習会を有効にご活用いただき、学生諸君の設計力向上にご利用いただければ幸いです。(名倉 徹)

デザイナーズフォーラムのお知らせ

<http://www.vdec.u-tokyo.ac.jp/DesignersForum/Forum10.html>

6/4(金)-6/6(日)、東大の武田ホールにおいてVDECデザイナーズフォーラムを開催いたします。毎年100名近い参加者が集まり、気軽な雰囲気の中でVDECユーザの交流をはかっています。

学生発表講演、参加者によるショート講演、ポスターセッション、大学院学生の立案によるPh.D. 企画セッションなど、試作経験やノウハ

ウ、失敗談なども含めて、研究発表だけではなく普段の学会では聞けないような話も聞くことができるでしょう。また、毎年好評いただいている、産業界・大学からの講師を招いた特別講演や、初心者向けのWorkshopも予定しております。今年もたくさんの教員・学生の参加をよろしく願います。(名倉 徹)

アンケート等へのご協力のお願いと来年度CAD利用申込みについて

VDECでは毎年、対象の先生方に、CAD利用状況アンケート・チップ試作レポート・関連論文リストの提出をお願いしています。皆様から提供された貴重なデータは、ライセンスを提供しているCADベンダーの提供継続を判断する材料、さらに、年報への掲載によるVDEC活動の発信へと利用されています。提出ページの準備が整いましたら(2月上旬予定)、CADuser等のメーリングリストを通

して、ご案内を差し上げます。今年度も、これらのアンケート等へのご協力をよろしくお願い致します。

また、来年度のCAD利用申込みについては、利用可能なCADツールが確定次第、3月上旬より申込みを開始する予定です。来年度も多くの皆様に、VDECが提供するCADツールを有効活用して頂ければ幸いです。(松本 剛史)

ローム0.18um向けPDKリリースのお知らせ

<http://www.vdec.u-tokyo.ac.jp/>

VDECの主力プロセスであるローム社0.18umプロセス向けのPDK(Process Design Kit)を開発し、VDECホームページを通して昨年11月にリリースいたしました。

すでにeShuttle 65nmプロセス等では、PDKを使用した設計環境が提供されており設計を進めるうえで有効に活用されているものと思います。

今回ローム社0.18umプロセス向けに新たにPDKをリリースすることで、VDEC提供プロセスでの設計環境のより一層の充実を図りました。PDKにはPCell(Parameterized Cell)も含まれておりますので、設計を迅速に進める上で活用できるものと期待します

「PDKって何??」「PCellなんて聞いたこと無い。」という方もぜひ一度お試し頂ければ幸いです。VDECホームページのCMOS 0.18um(ローム社)設計規則のページからダウンロードできます。またVDECホームページのトップからもアクセスできるようになっておりますので、ぜひご活用ください。(飯塚 哲也)



広島大学 マタウシュ・小出研究グループ

広島大学 ナノデバイス・バイオ融合科学研究所 集積システム科学研究部門 (<http://www.rnbs.hiroshima-u.ac.jp/RNBS/>)
広島大学 大学院先端物質科学研究科 半導体集積科学専攻 (<http://www.hiroshima-u.ac.jp/adsm/handoutai1/>)

マタウシュ・小出研究Gが所属する「ナノデバイス・バイオ融合科学研究所」は、情報化社会の先にある高度医療保障社会に向け、予防医学やユビキタス病気早期診断を実現するために、エレクトロニクスとバイオテクノロジーを融合する基盤技術を開発しグローバルな教育研究拠点を構築することを目的として、ナノ集積科学、集積システム科学、分子生命情報科学、集積医科学の4つの研究部門が融合して、デバイス、プロセス、回路、アーキテクチャ、システムの開発をしています。

特に、マタウシュ・小出研究Gでは、テラビット容量と高機能メモリ、連想メモリ、低消費電力・超並列演算プロセッサ、画像認識アーキテクチャに関する基盤技術や、人間の脳よりも速い認知処理、大きな記憶容量、環境に適合して変化する学習機能を有する集積ブレインシステムの実現を目指して研究をしています。また、次世代世界標準トランジスタモデルHiSIMを用いたばらつきを考慮した設計に関する研究も行っています。

これまでに、VDEC モトローラ1.2um、ローム0.6um、0.35um、HHS 0.5um、日立0.35um、ローム0.18um、ASPLA90nm、e-shuttle65nm、TSMC 65nmの試作を行っており、その試作したLSIチップは、LSI IP デザイン・アワードで通算12回表彰されています。

これらのLSIチップ試作は、VDECから提供していただいているPDKやLSI CADソフトウェア、そしてVDECによるCAD講習会やデザイナーズフォーラムなど、全国のLSI設計グループ間の交流やノウハウの共有により、試作・実現することができたと考えています。VDECの関係者の方々に感謝すると共に、今後もVDECの活動に協力し、全国のVDECユーザと共に、集積回路設計研究・教育に貢献したいと考えています。



VDECスタッフより…

VDECセンター長室秘書第2号の猪股です

第1号の吉田先輩は大学の先輩でもあるのですが、1昨年の秋に私がVDECに参りましてから、多様なセンター長室のお仕事を一つ一つ丁寧に教えていただきました。勤務日が週に1度しか重ならなくなっただけではなく、私は処理不能な何かが起こるとすぐ自宅に電話をかけて問題解決を図るという大変迷惑な後輩でした。

見たことのない書類の処理、電話の向こうから要求される訳のわからない事柄の持って行き場など、頭の中が白くなるような仕事の割合が自分の中で減少してきた昨年の4月ごろから、VDECの走る会（名倉先生主催）に参加して不忍池の周りを走っています。実は名倉先生の秘書も務めさせていただいていますので、先生がご担当のCAD講習会やシンポジウム、リフレッシュ教育等にも関わっております。

世の中が不景気なせいか、そうした催しへの参加人数も減少傾向にあるようです。しかし、このような時にこそ知識や技術の習得に励み、研鑽を積むことが肝要かと思う今日この頃です。皆様のふるってのご参加をお待ちしております。（猪股啓子）

